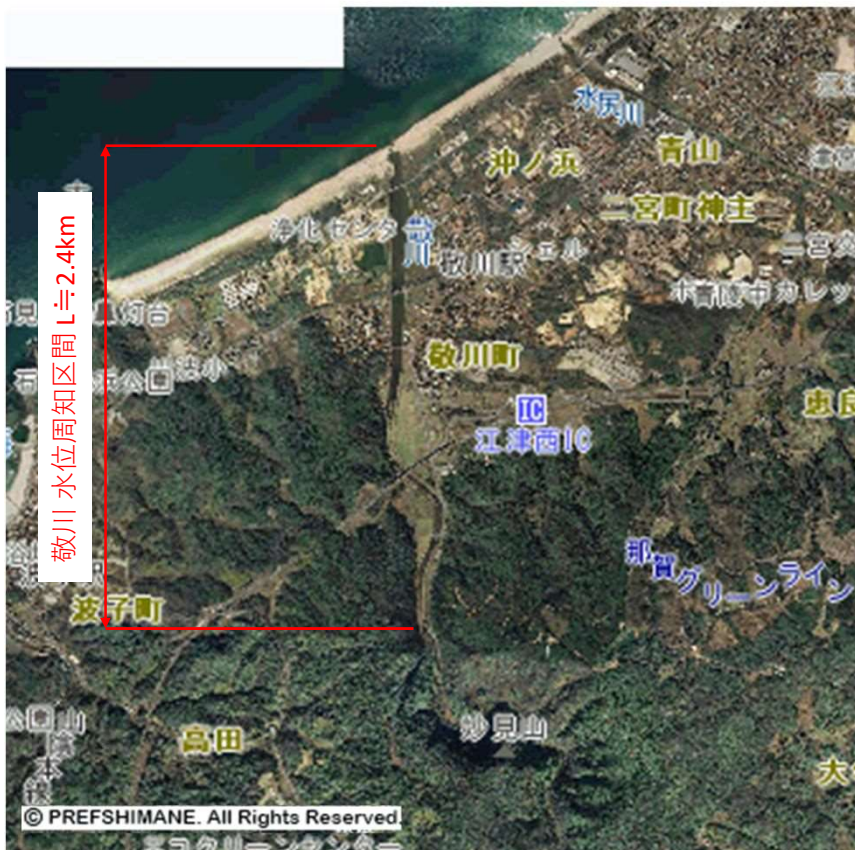


浜田圏域  
県管理河川に関する減災対策協議会  
(フォローアップ)

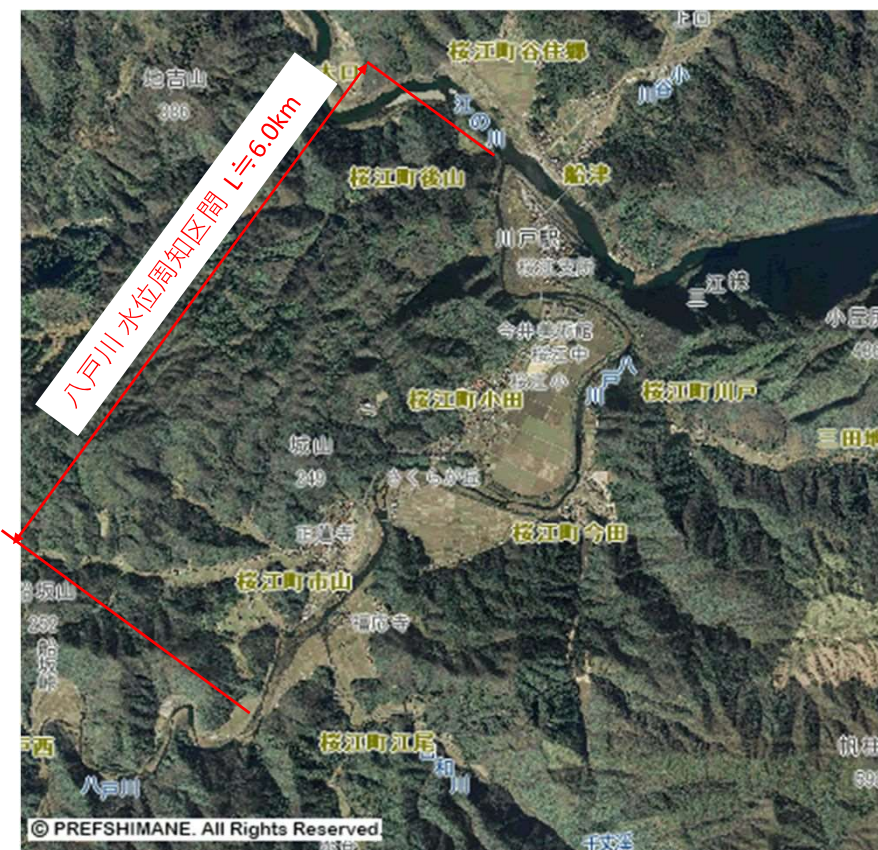
- ・平成29年度の実施状況
- ・平成30年度の実施予定

項目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内容	H29年度取組	八戸川・敬川の作成業務に着手 (H29.12委託契約)
	H30年度予定	八戸川・敬川を作成・公表し、江津市へ提供
取組機関	島根県	

敬川 洪水浸水想定区域図の公表等  
(H30.10月頃公表予定)



八戸川 洪水浸水想定区域図の公表等  
(H30.10月頃公表予定)



# 参考資料 (津和野川)

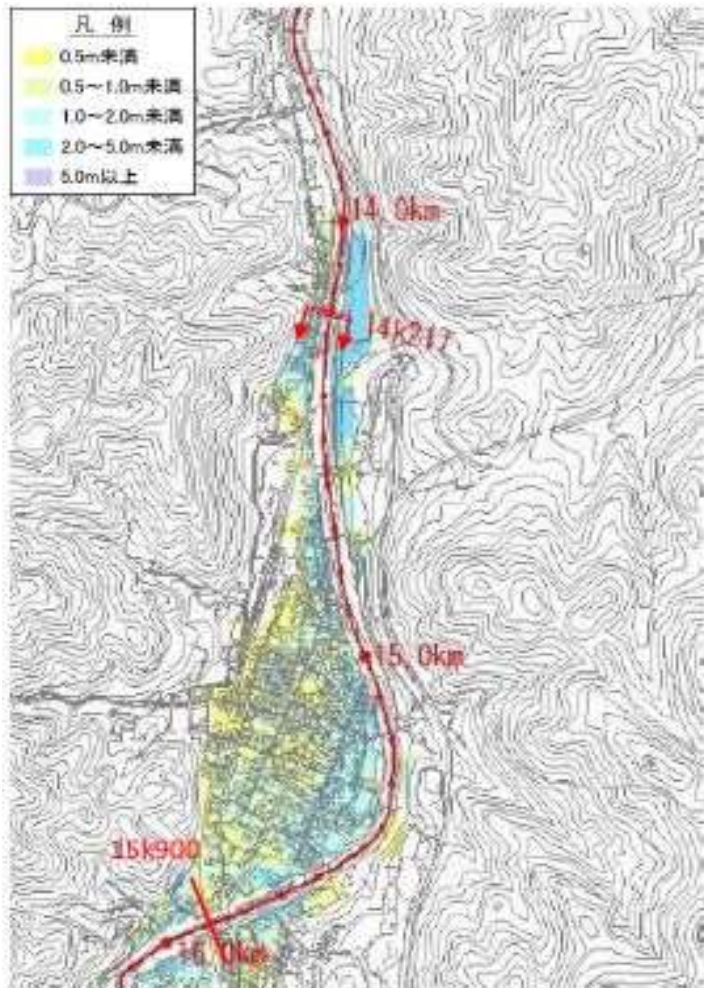
想定最大規模  $Q=1460\text{m}^3/\text{s}$  計画規模  $T=1/50$   $Q=860\text{m}^3/\text{s}$

今回検討の想定最大規模の降雨の浸水解析結果

既往公表の浸水想定区域

14k217～15k900

14k217～15k900

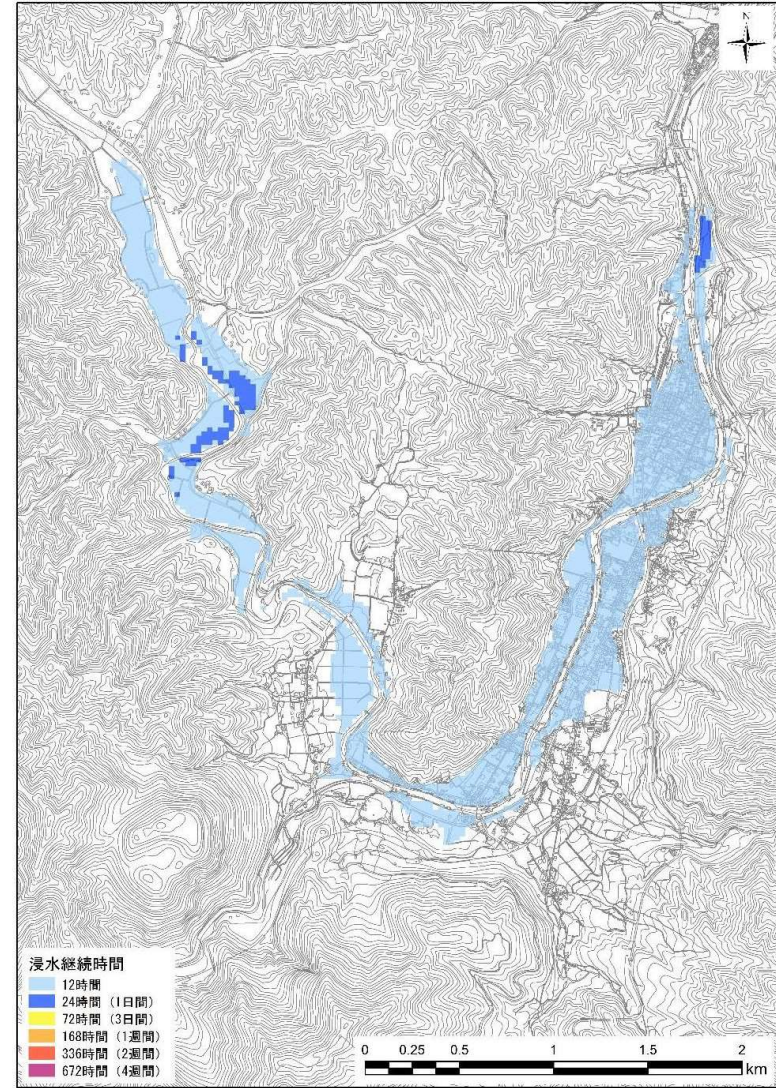


# 参考資料 (津和野川)

家屋倒壊等氾濫想定区域  
河岸浸食区間 (イメージ)

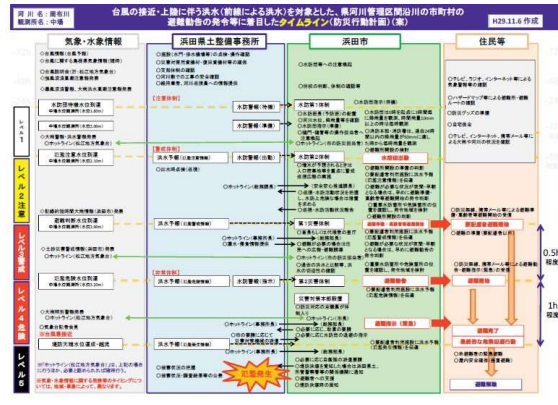


浸水継続時間 (イメージ)

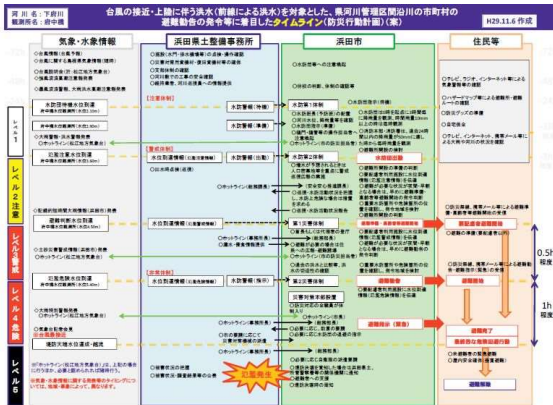


項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成【H29.11.6】
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
取組機関	協議会全体	

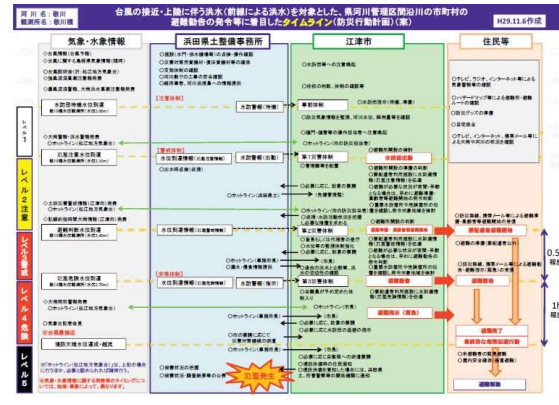
周布川 中場観測所



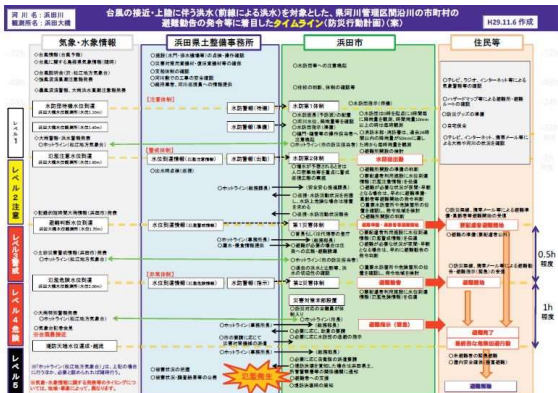
下府川 府中橋観測所



敬川 敬川橋観測所



浜田川 浜田大橋観測所



三隅川 三隅観測所

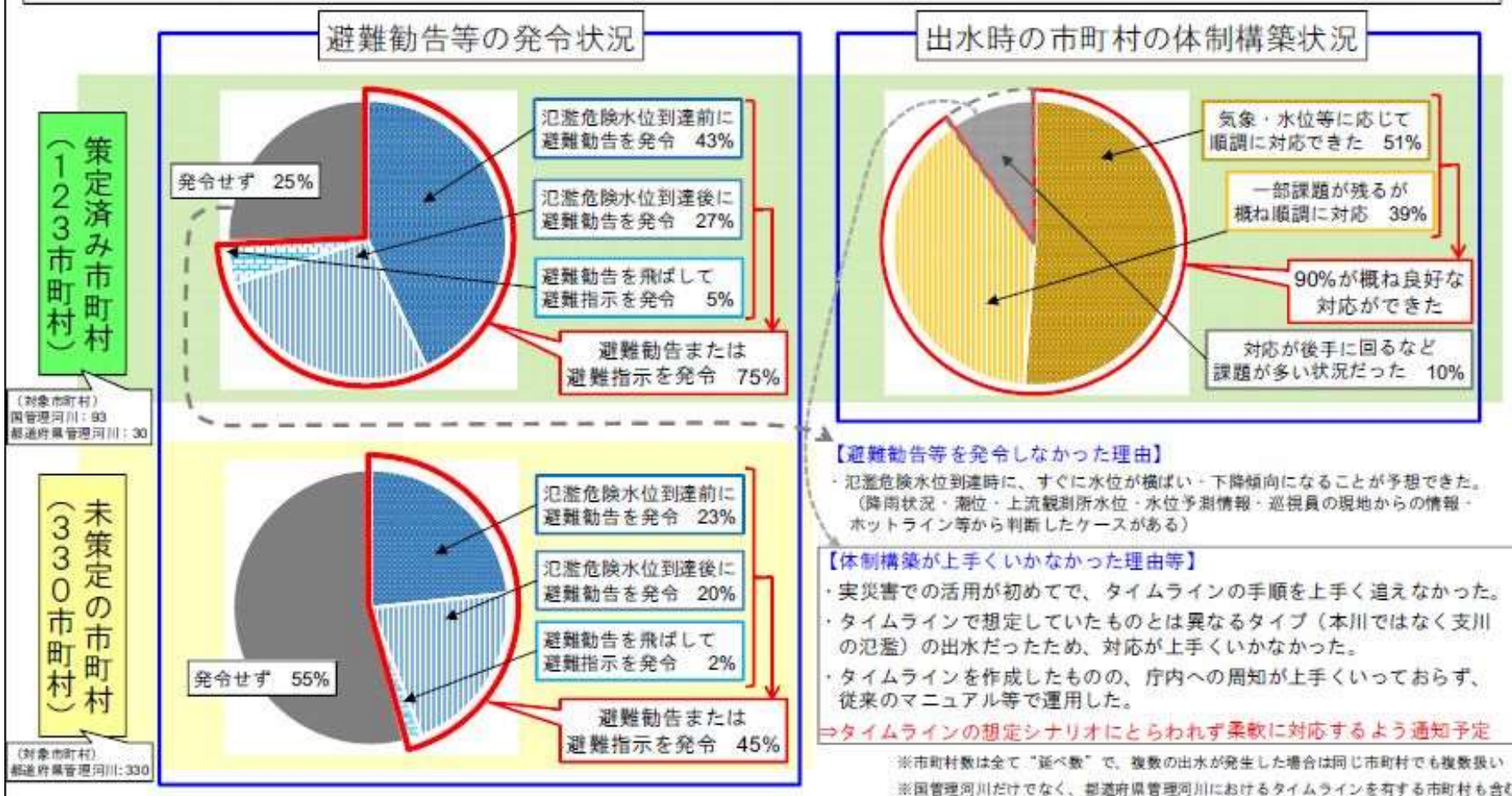


八戸川 江尾観測所



## 水害対応タイムライン策定効果の検証

- 今年の出水で氾濫危険水位を超過した河川がある市町村(延べ451市町村)を対象に、タイムラインの策定状況と「避難勧告等の発令」及び「市町村の体制構築」がスムーズに行えたかどうか、聞き取り調査を実施
- タイムライン策定市町村では、迅速な避難情報の提供だけでなく、順調な体制構築・対応にも効果を発揮
- 今後、タイムラインの策定・活用を促すと共に、シナリオにとらわれない柔軟な対応ができるよう通知予定



項目	4. 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	
内容	H29年度取組	情報伝達演習の実施【H29.4.28】 実洪水でのホットライン【H29.7.5】
	H30年度予定	情報伝達演習においてホットラインを実施【H30.4.25】
取組機関	浜田市、江津市、島根県	

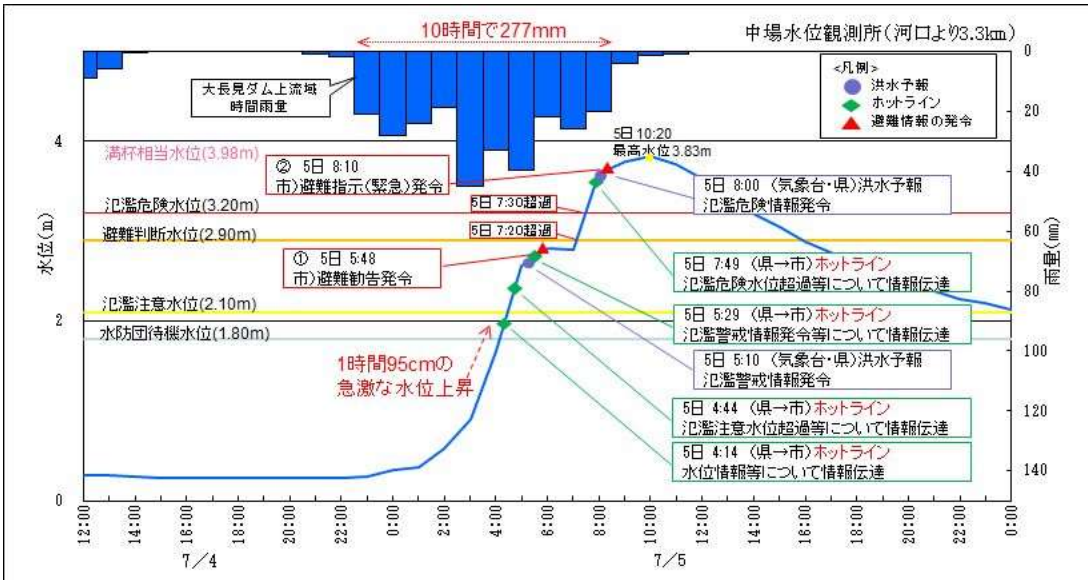
河川に関する情報伝達演習  
(H29.4.28)



水防本部（河川課水防室）の状況

ホットラインを含めた情報伝達演習を実施  
(H30.4.25)

周布川における水位とホットライン（情報伝達）・避難勧告等  
(H29.7.4～5)



<避難状況>

避難勧告 5日5:48 周布町を含む8町(2816世帯、6283人)に発令

避難指示 5日8:10 周布町を含む8町(2816世帯、6283人)に発令

避難状況 避難所へは最大456人が避難

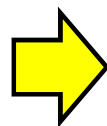
項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度予定	次期水防情報システム開発実施（島根県）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

### ◆次期水防情報システムの開発

#### 現水防システムの課題

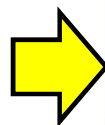
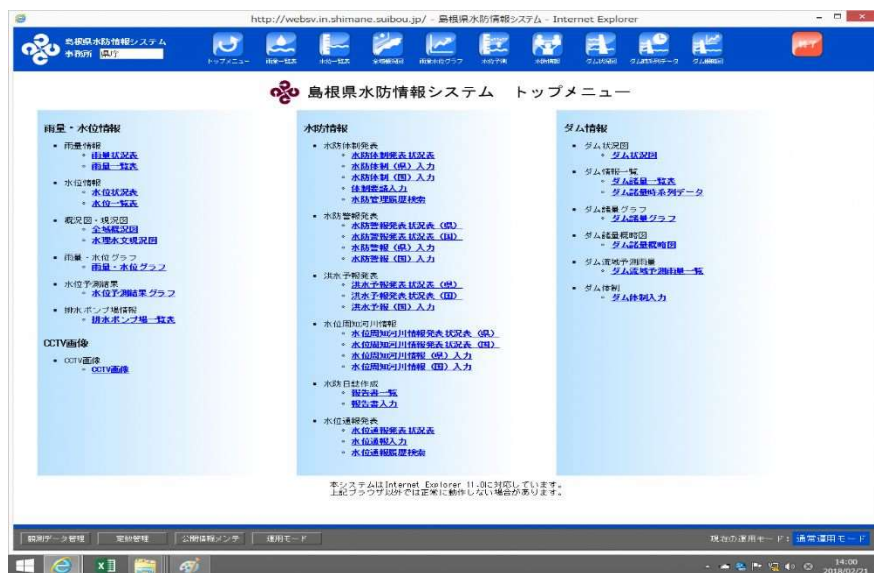
- ① 迅速かつ確実な情報伝達に懸念  
(操作方法が複雑)
- ② 水害リスクの速やかな予測が困難
- ③ 訓練設定機能が複雑、内容が一様
- ④ 県民向けの情報提供

改善



- ① 迅速かつ確実な情報伝達の確保  
(i) 水防情報の機能一元化  
(ii) 操作方法が容易で誤配信を防ぐシステム
- ② 水害リスクの予測支援
- ③ 実態に近い訓練の支援
- ④ 県民向け情報提供の充実
- ⑤ 観測通信設備更新への円滑な対応

### ◆トップ画面イメージ





項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H29年度取組	出水期より、改善された防災気象情報を提供開始（松江地方気象台）
	H30年度予定	大雨警報・注意報（浸水害）基準及び洪水警報・注意報基準を改善するための調査を実施中（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

## 平成29年度出水期に実施した 防災気象情報の改善概要



### 基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなくとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

### 改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29.5.17  
提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【改善策】

平成××年××月××日××時××分××地方気象台発表  
××市

【発表】暴風、波浪警報 大雨、雷、濃霧注意報  
【継続】高潮注意報

××市	今後の推移(■警報級 □注意報級)													
	7日	8日			9日			10日			11日			
発表中の警報・注意報等の種別	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15
1時間最大雨量(ミリ)	10	10	30	30	50	50	50	30	30					
(浸水害)														
暴風														
風速(矢印・メートル)														
波浪														
潮位(メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2					

【現在】

注意報・警報  
(文章形式)

### 改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

H29.5.17  
提供開始

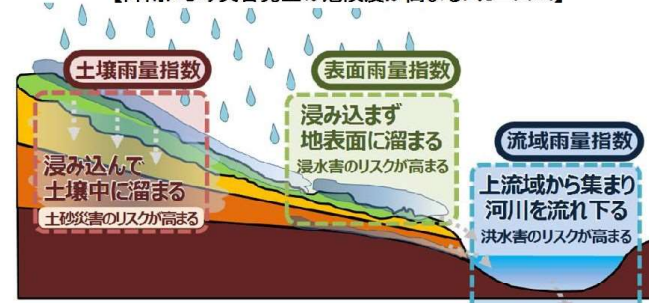
- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	中	—	—	中	高
	風	中	—	—	高	高

### 改善Ⅲ 危険度分布（メッシュ情報）の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発（表面雨量指数・流域雨量指数）

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



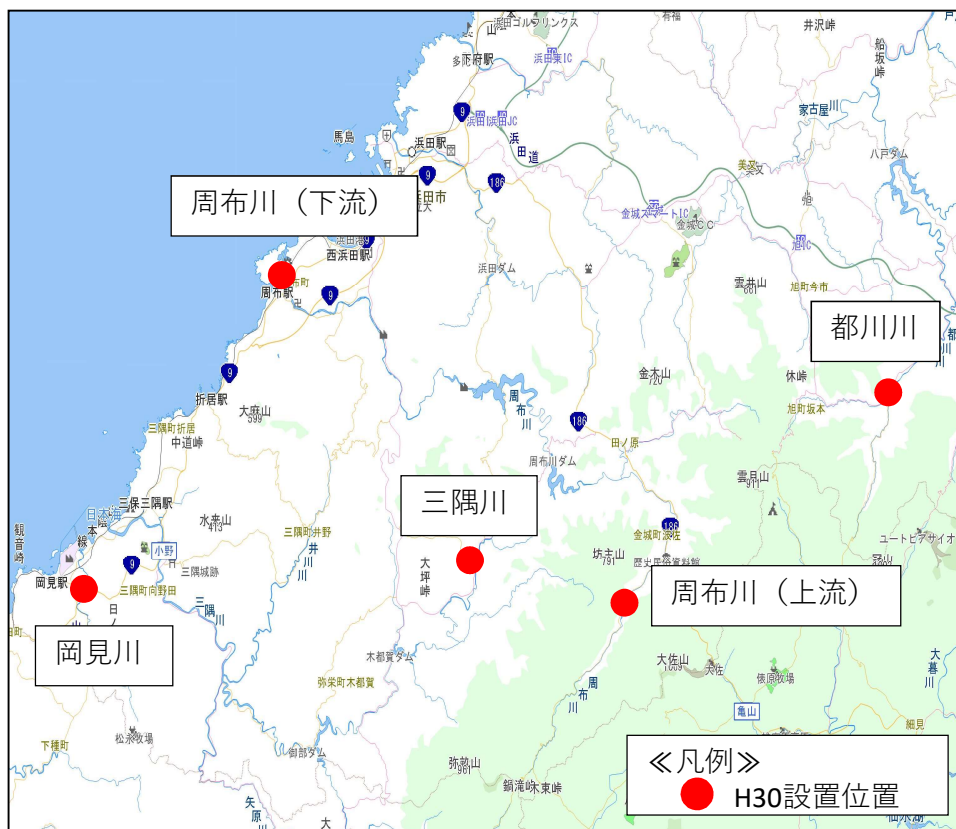
- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	H29年度取組	—
	H30年度予定	浜田市／河川監視カメラの整備〔周布川、三隅川、岡見川、都川川〕 江津市、島根県／水位表示板の整備〔都治川〕 島根県／危機管理型水位計の整備〔浜田市；検討中、江津市；八戸川〕 予定
取組機関	浜田市、江津市、島根県	

河川監視カメラの整備  
(H30年度中)

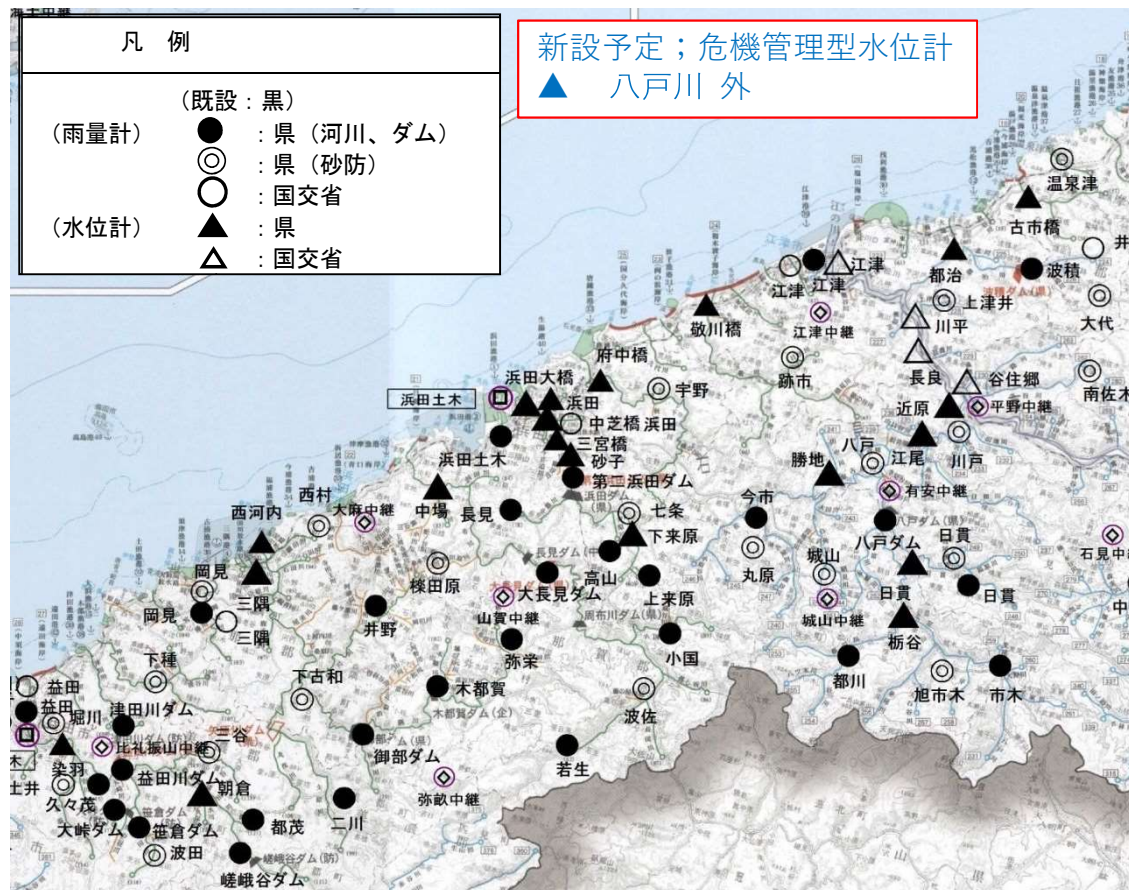


水位表示板の整備〔都治川〕  
(H30.6下旬予定)



項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	H29年度取組	—
	H30年度予定	浜田市／河川監視カメラの整備〔周布川、三隅川、岡見川、都川川〕 江津市、島根県／水位表示板の整備〔都治川〕 島根県／危機管理型水位計の整備〔浜田市；検討中、江津市；八戸川〕 予定
取組機関	浜田市、江津市、島根県	

**危機管理型水位計の整備（H30.12頃予定）**



洪水に特化した低コストな水位計の設置例



項目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	浜田市、江津市、島根県	

**各市広報紙、防災出前講座**

**水防技術講習会  
(H30.3.18)**



浜田市 広報誌



江津市 広報誌

江津中央公園において、国・県・市・消防団（江津市、浜田市、川本町、美郷町、邑南町）約200名の参加による水防技術講習会を開催し、水防に関する知識、技術の習得を図った



【座学状況】



平成29年度  
防災出前講座を83回  
開催〔浜田市〕



【実習状況】

項 目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所共同点検	
内 容	H29年度取組	—
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認
取組機関	浜田市、江津市、各消防団等、島根県	

**H30 連絡調整会議、共同点検 (H30.6.8)**

<共同点検>

○日時：平成30年6月8日(金)  
9:30~15:30

○参加機関：

地元自治会 ..... 美川地区、周布地区  
 地元消防団  
 浜田市 (維持管理部、総務部)  
 島根県 (維持管理部管理課、企画調整スタッフ)

○内容：

出水状況などの聞き取り  
 現地調査 (徒歩により指定区域内の巡視)



危険な箇所の点検状況



点検結果の確認状況



水防資機材倉庫  
【江津倉庫・河内倉庫】



項目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内容	H29年度取組	対象施設の確認及び計画作成支援
	H30年度予定	対象施設に対する説明会の実施、作成支援
取組機関	協議会全体	

### 避難計画作成状況

#### ◆浜田市

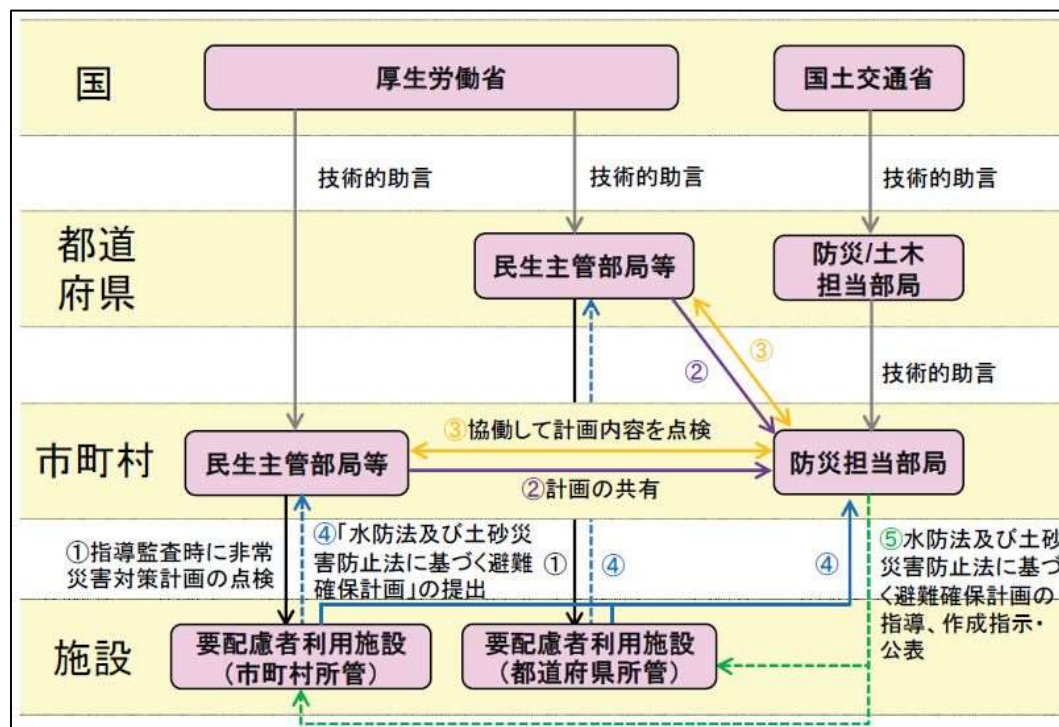
<H29.3.31現在>		<H30.3.31現在>	
作成済み	2 施設	6 施設	
未作成	66 施設	48 施設	
作成率	3 %	11 %	

#### ◆江津市

<H29.3.31現在>		<H30.3.31現在>	
作成済み	0 施設	0 施設	
未作成	11 施設	11 施設	
作成率	0 %	0 %	

※ 新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。

### 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ

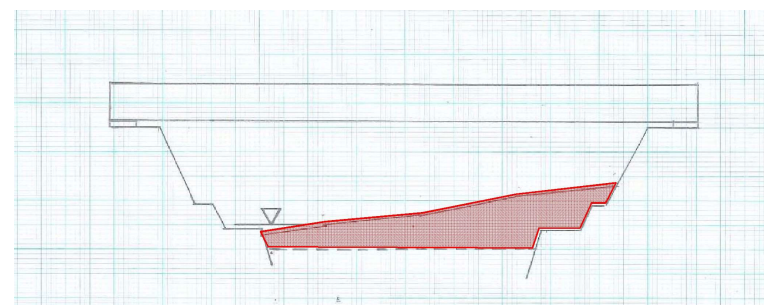


項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内容	H29年度取組	玉川 河川に堆積した土砂の取り除き【橋梁横架部の堆積土砂の取り除き】
	H30年度予定	
取組機関	島根県	

**H29 河川改修、堆積土砂撤去**



H25 災時に河川に堆積した土砂については浚渫を行ったが、その後、堆積した土砂について、洪水時のせき上げにおいて背後地へ影響のある橋梁の前後区間について、浚渫を行い民生の安定を図る。



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H29年度取組	周布川 河川に堆積した土砂の取り除き
	H30年度予定	
取組機関	島根県	

**H29 河川改修、堆積土砂撤去**

平成29年7月豪雨災害で河川に堆積した土砂の撤去を行うことで、民生の安定に取り組んだ。



竣工時状況



施工状況



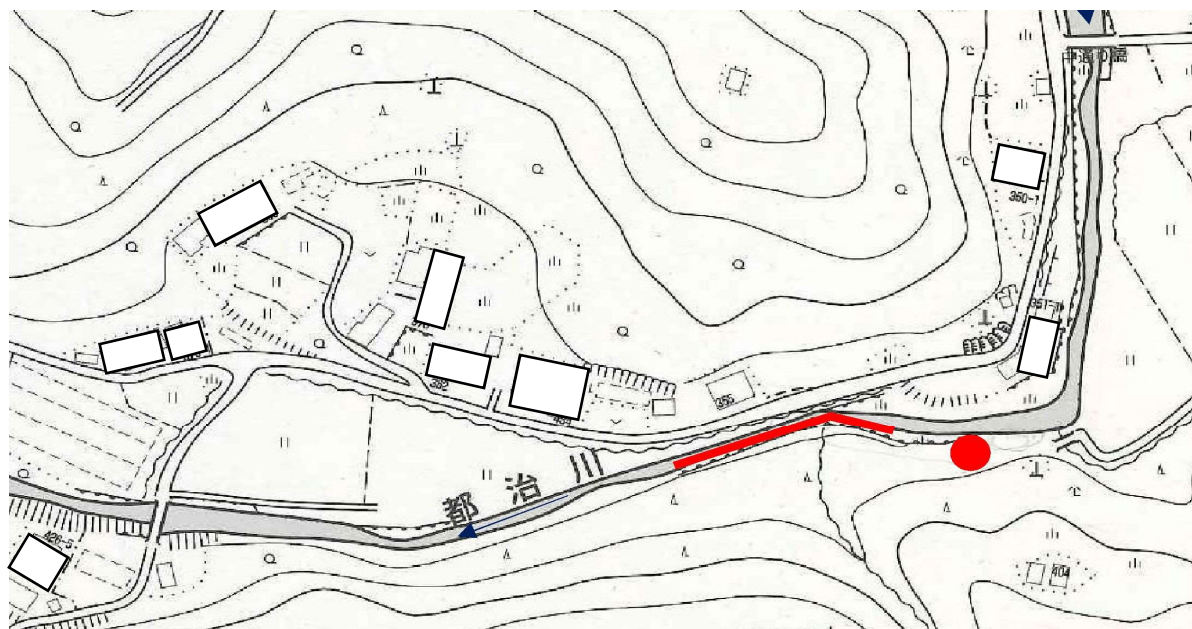
着手時状況



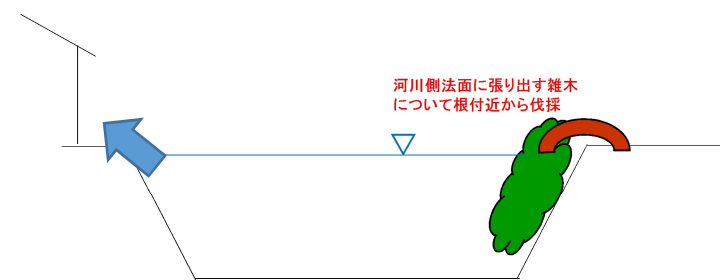


項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内容	H29年度取組	
	H30年度予定	都治川 【河川内に繁茂する立木等の伐採】
取組機関	島根県	

**H30 河川区域内 立木（支障木）等の伐採予定**

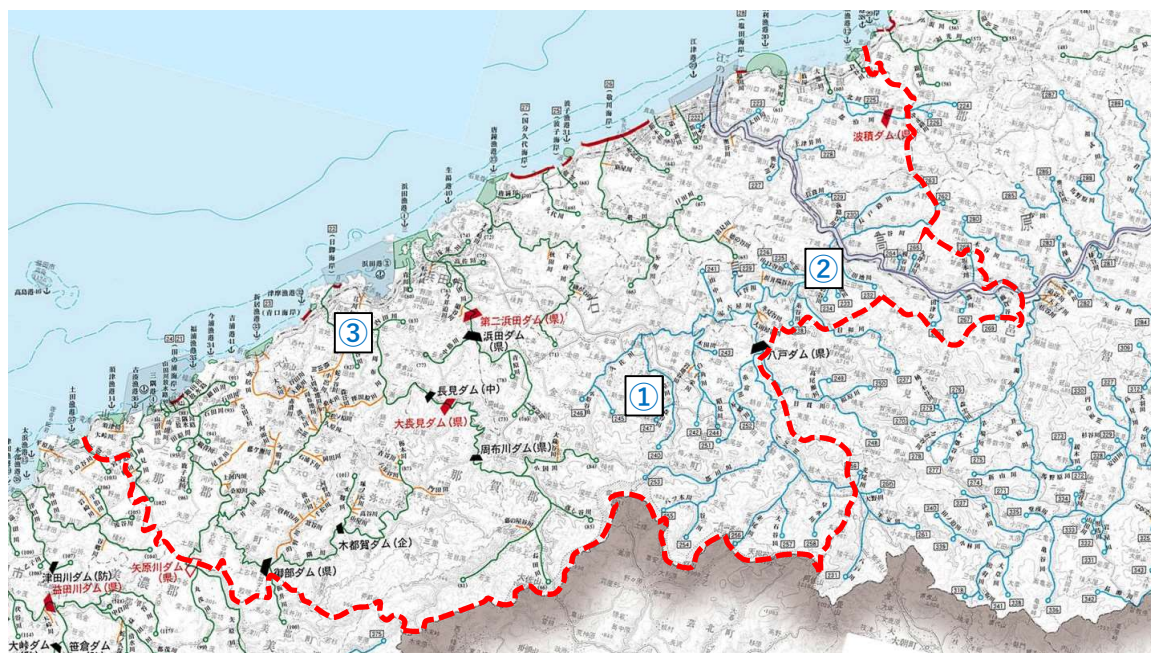


河川の流れが90度方向を変える地点において、護岸背後地（耕地など）の管理がなされないことから、河川内に立木が繁茂することとなり、洪水時には流水のせき上げを発生されることから伐採を行う。



項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内容	H29年度取組	家古屋川、玉川ほか
	H30年度予定	家古屋川、都治川、八戸川、周布川ほか
取組機関	島根県	

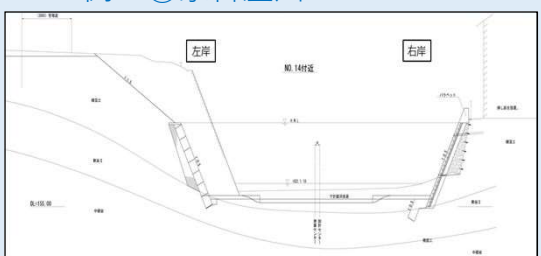
**H29 河川改修、堆積土砂撤去、H30 河川改修、堆積土砂撤去予定**



◆河川修繕工事  
例：②八戸川、③周布川



◆河川改修事業  
例：①家古屋川



項目	12. 排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内容	H29年度取組	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度予定	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、浜田河川国道事務所、島根県	

## 平成30年度 島根県水防計画抜粋

(1) 国土交通省所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両総重量(kg)
斐伊川出雲市河川防災ステーション	出雲市上塩治町	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s (揚程 20m) 機械番号 25-4706	18,070 未満
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 11-4718	6,810
出雲河川事務所 中海出張所	安来市東赤江町福井1637	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s 機械番号 18-4708	9,030
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 21-4703	7,770
浜田河川国道事務所 安富水防倉庫	益田市安富町	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s 機械番号 21-4702	9,340
浜田河川国道事務所 江の川下流出張所	江津市渡津町	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s (揚程 20m) 機械番号 21-4706	17,300
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 11-4719	6,810
浜田河川国道事務所 多田水防倉庫	川木町多田	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s (揚程 20m) 本部付 機械番号 22-4700	17,050
浜田河川国道事務所 尾原水防倉庫	川木町川下	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s (揚程 20m) 本部付 機械番号 19-4704	17,270
		1台	照明車 2kw×6灯 本部付 機械番号 20-4705	7,650
浜田河川国道事務所 益田国道維持出張所	益田市あけぼの町	1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 16-1709 本部付	

(2) 島根県所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両総重量(kg)
雲南県土整備事務所	雲南市木次町里方 531-1	1台	排水ポンプ車 0.5 m <sup>3</sup> /s	10,340

(参考) 平成19年6月2日に施行された改正道路交通法により、ポンプ車を一般道路で走行するためには、下記の区分による免許が必要となります。

「本部付」は災害対策本部長(局長)が管理することを意味する。

(3) 要請先(窓口)

1) 国土交通省所有機械

国土交通省出雲河川事務所	管理第一課	TEL 0853-20-1753 FAX 0853-22-6117
国土交通省浜田河川国道事務所	河川管理課	TEL 0855-22-2480 FAX 0855-22-2486
国土交通省中国地方整備局 企画部	防災課	TEL 082-221-9231 FAX 082-227-2651

2) 島根県所有機械

各県土整備事務所等(各水防支部・地区)	水防担当課	TEL 県水防計画 P6 参照 FAX #
十木部河川課(水防本部)	防災グループ	TEL 0852-22-6363

○島根県内の排水ポンプ車配備位置図



出雲河川事務所所有の排水ポンプ車



能力: 30m<sup>3</sup>/min (5 m<sup>3</sup>/min×6)  
 設置人数: 5人程度  
 運転時間: 約 48 時間  
 (斐伊川出雲市河川防災ステーション)

能力: 30m<sup>3</sup>/min (5 m<sup>3</sup>/min×6)  
 設置人数: 5名程度  
 運転時間: 約 48 時間  
 (中海出張所)

・設置人数は、標準的な現場において全台数の運転開始までの所要時間を1時間程度と想定した場合の参考値  
 ・運転時間は燃料タンク残量での開始直後運転時間

浜田圏域県管理河川に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字：H29取組内容  
青字：H30取組予定

【資料2】

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
			浜田市	江津市	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県		
<b>■ 水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現</b>									
1	想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	周布川、浜田川、下府川、三隅川、八戸川、敬川	平成31年度末まで			H28d公表済		<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定最大規模降雨による浸水想定区域図作成・公表し、関係市へ提供。</li> <li>・H29～江津市</li> <li>・H31～浜田市</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸川、敬川の洪水浸水想定区作成に着手</li> <li>・上記区域図を作成・公表し、江津市へ提供</li> </ul>	
2	水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	平成33年度末まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し。</li> <li>・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。</li> <li>・印刷物の各戸配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し。</li> <li>・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知</li> <li>・印刷物の各戸配布</li> </ul>				
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップポータルサイト登録済み</li> <li>・転入者等への水害ハザードマップの配布</li> </ul>	—				
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者等への水害ハザードマップの配布</li> </ul>	—				
3	避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	周布川、浜田川、下府川、三隅川、八戸川、敬川	平成30年度出水期まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成</li> <li>・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成</li> <li>・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムラインの策定に関する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害対応タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成</li> <li>・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し</li> </ul>	
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象河川の水害対応タイムラインの作成【H29.11.6】</li> </ul>			
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・実洪水、情報伝達訓練を通じて検証を行う</li> </ul>			
4	洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	周布川、浜田川、下府川、三隅川、八戸川、敬川 他	平成28年度から継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る</li> </ul>				
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練の実施【H29.4.28】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施【H29.4】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達演習の実施【H29.4.28】</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練でホットラインを実施【H30.4.25】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施【H30.4.25】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】</li> </ul>
5	避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域	平成32年度末まで				<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災気象情報の改善                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○危険度を色分けした時系列</li> <li>○警報級の可能性の提供</li> <li>○危険度分布（メッシュ情報）の充実</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期水防情報システムの開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○操作法を改善し迅速な情報提供</li> <li>○観測データの異常値チェック機能</li> <li>○スマートフォンに対応した情報提供</li> <li>○訓練シナリオの充実</li> </ul> </li> <li>・雨量計、水位計等の更新</li> </ul>	
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度出水期より改善された防災気象情報を提供開始（完）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期水防情報システム開発に着手</li> </ul>	
							—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期水防情報システム開発</li> </ul>	

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				浜田市	江津市	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県	
6	水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	圏域	平成30年度から順次実施	-  河川監視カメラの設置(5箇所) (下府川、浜田川、都川川、岡見川)	-  都治川に量水標を1箇所設置			島根県 ・モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る ○モデル河川・・・今後調整  ・簡易水位計の整備 浜田市：検討中 江津市：八戸川 ・水表示板整備 江津市：都治川 ・水位計、河川監視カメラの工事発注 浜田市：下府川(カメラ) 江津市：敬川(水位計)	
7	出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信  ・防災出前講座 83回開催 ・広報6月号防災特集(風水害)記事掲載、広報9月号7.4大雨災害特集記事掲載	・出前講座等により水防情報の入手、活用方法等について周知を図る  出前講座の実施【9回】	・防災知識の普及に協力  水防技術講習会(H30.3.18)予定	・出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。  ・浜田市防災会議において、津波防災に関する知識の普及を実施した。 【H29.5.19】 ・江の川洪水予報連絡会幹事会において、防災気象情報の改善について説明した【H29.6.7】 ・浜田市総合防災訓練において気象、地震に関するパネル展示を実施した【H29.6.11】 ・江津市青陵中において津波ワークショップを実施した【H29.10.17】	・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信  ・新聞広報(考える県政)【H29.6.18】 ・水防技術講習会【H30.3.18】	
8	水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検	下府川、八戸川 他	平成30年度から	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検  ・出水期前に共同点検を行う ・水防資機材の提供方法等について検証を行う	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検  ・出水期前に共同点検を行う			島根県 ・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検  ・出水期前に共同点検を行う ・水防資機材の提供方法等について検証を行う	
9	水害危険性の周知促進	-	平成32年度から	・浸水実績等の周知検討  - -	・浸水実績等の周知検討  - -			島根県 ・過去の浸水実績や簡易な方法を活用した浸水想定区域を関係市へ提供。 ・役場等に係る河川を中心に対象河川を調整  - -	

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			浜田市	江津市	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県	
<b>■ 要配慮者利用施設における確実な避難</b>								
10 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援	圏域	平成28年度から継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼</li> <li>随時面談・電話による作成相談を実施</li> <li>提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度施設管理者向け説明会の開催</li> <li>避難確保計画作成に関する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度施設管理者向け説明会の開催</li> <li>避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度施設管理者向け説明会の開催</li> <li>モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有</li> <li>例)モデル施設で避難確保計画の作成</li> </ul>	
			<H29.3末時点> 対象施設 63施設 作成済施設 0施設	<H29.3末時点> 対象施設 10施設 作成済施設 0施設				
			<H30.3末時点> 対象施設 48施設 作成済施設 6施設	未実施	説明会・支援に関する依頼なし	—	—	
		継続	対象施設すべての策定状況の把握と作成着手の実施	作成支援に協力する	—			
<b>■ 被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る</b>								
11 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	平成28年度から継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>河川整備状況を共有</li> <li>河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施</li> <li>通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係市と調整し優先箇所を定めて順次実施</li> </ul>	
			—	・八戸川ほか6河川で実施				
			—	・八戸川ほか6河川で実施予定				
12 排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	毎年継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水施設、排水資機材等の情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水施設、排水資機材等の情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水施設、排水資機材等の情報の提供</li> <li>排水計画策定に関する助言</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>排水施設、排水資機材等の情報の共有</li> <li>長期にわたり浸水が継続し重要施設(市町村庁舎等)が存する地域において排水計画を作成</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水施設、排水資機材等の情報の提供済み</li> <li>排水計画に関する支援なし</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水施設、排水資機材等の情報提供を行う</li> <li>排水計画策定に協力する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有</li> </ul>	
13 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	平成29年度から継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報提供</li> <li>浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸水想定区域内の災害拠点施設に対する情報伝達体制・方法について共有を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛水防推進に関する支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有</li> <li>浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、協議会で共有</li> </ul>	
			—	—			—	
			—	—			—	